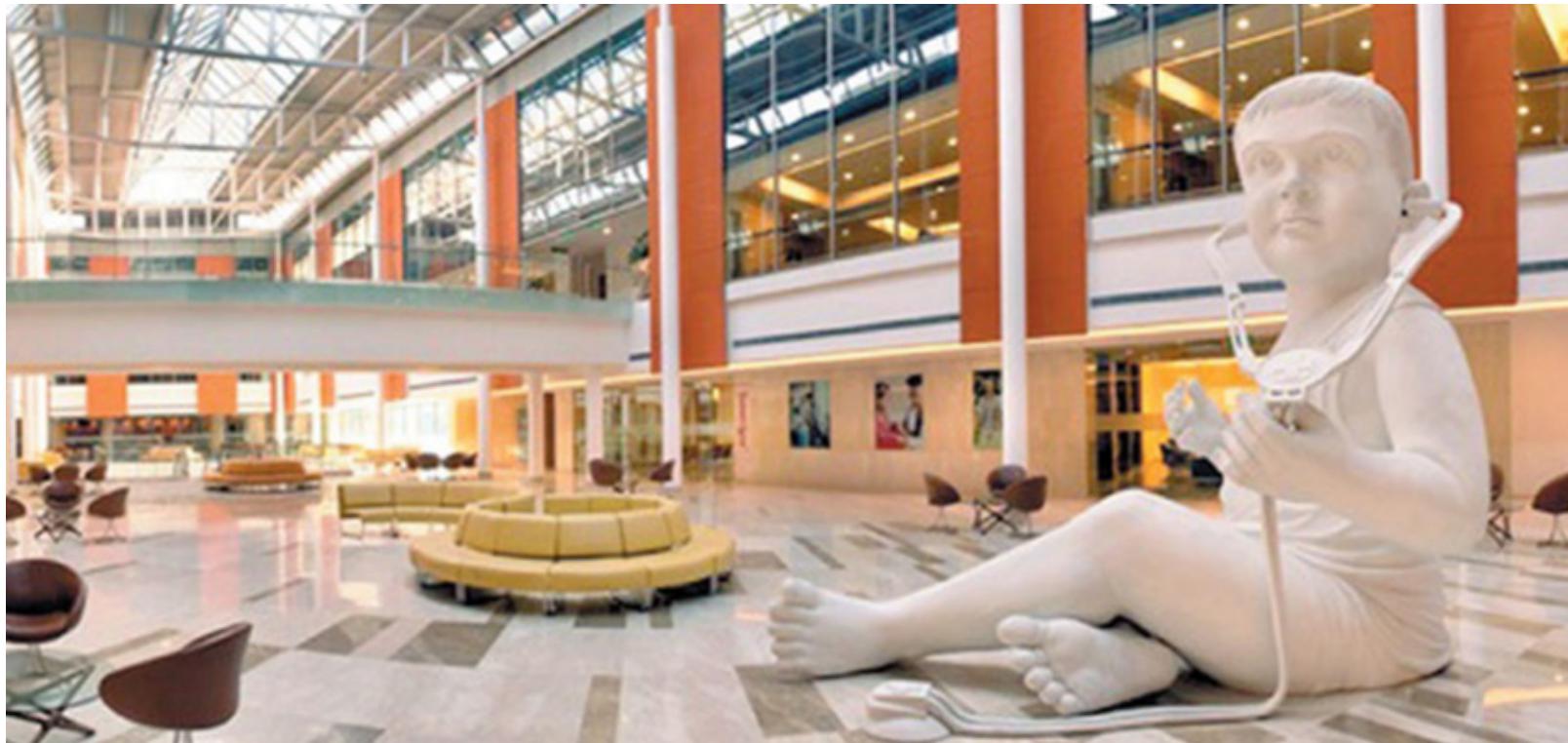


インドでの出産準備について(個人使用版)



(注意)

- ①本手引きは奥様が妊娠された場合の男性海外赴任者からの視点で書いております。
どこであっても共通で注意しなければならない心構え等は割愛しています。
- ②2016年6月時点の経験を元に作成しています。
本資料に基づき取った行動により何らかの損害が発生した場合、責任を当方は負うことは出来ません。
その時の状況により手続きが変わる可能性はインドなだけに否めませんので、
最新の手続きはご自身で確認することを強くお勧めします。
- ③ツイート、RTのリンクから印刷し個人使用すること、紙媒体で他の方にお渡しいただくことは問題ございません。
しかしながら(こんなことは無いとは思いますが)第三者間での金銭のやり取りを伴う本資料のやり取り、
PV稼ぎ目的でのブログ等への無断転載、まとめサイトへの掲載は用途を問わず全てお断り致します。

初版:2016年6月

作成者: @Bucketz_jkt

- 1. 現地出産の長所・短所**
- 2. インド出産を決めた時にすること**
- 3. (詳細版)出産前のこと**
- 4. (詳細版)出産後のこと**

1. 現地出産の長所・短所

長所) 1. 家族が一緒に居られる

2. 無痛分娩が一般的に選択でき、母体への負担を軽くすることが出来る。

※日本では「腹を痛める」ことが美德とされ、無痛分娩に対して好印象を持たれない場合がある。

こちらで産むことを選択すれば、親戚や知り合いに上記美德でもって要らぬ説得を受けずに済むという意味で。

短所) 1. 手続きが多い、かつ出向者本人が動かないといけない。

※自身の業務負荷を鑑み、しっかりスケジュールを組む必要があります。

但し、奥様側にはメイドさんが居るので日本で家族の世話になる以上に外注は可能です。

2. 日本のように家族からの多くのサポートが得られない。

※家族を呼び寄せた所で、インドに初めて来るような家族がまとめてサポート出来る訳がありません。

かつ仕事の負荷があまりにも高い状況で奥様のストレスが溜まるとお互いのストレスのやり場が無くなる危険もあります。

??所) 1. 子供の戸籍にインドの文字が刻まれ一生消えない。

※出生地に「インド共和国ハリアナ州」と記載されます。

→上記、及び以降の手続きを確認した上で夫婦でよく話し合い、お互いが「相手が言ったから現地出産(日本出産)を選んだ」と言わない(言わせない)よう納得行くまで議論して決めることをお勧めします。

2. インド出産を決めた時にすること

1) 敢えて過酷な環境での出産を決意した奥様を称えること。重要!!

2) 出産に向けてのスケジュールを予め作成すること

- ・出産前は勿論のこと、出産後はパスポート・ビザを取得するまで、新生児が国外に出ることは出来ません。有給休暇を利用しながら日本での手続きを進めることになりますが、予めスケジュールを組んでおくことをお勧めします。

<一時帰国時のこと(出産前)>

- ・新生児の性別確認(インドで出産前に性別確認することは違法、日本での確認が必要です)

- ・関連用品の買出し(送付制度等で購入できるものには限りがあります。必要なものを予め奥様と協議)

<一時帰国時のこと(出産後)>

- ・(必要に応じ)地方自治体への出生届の提出、戸籍謄本の受領

3) 上記スケジュールを基に日本の家族に依頼することを明確にしておくこと。

- ・家族の呼び寄せを行う場合には、渡印前、日本帰国後に本人の代行で行ってもらうことを整理しておくこと。

3. (詳細版)出産前にすること

4/6

項目	タイミング	実施事項・注意点
1.出産前一時帰国日程の確認	(N-6)月	奥様のタイミングに合わせる必要があります。性別確認も兼ねる場合は早すぎてもNG、母体への影響を考えると遅すぎてもNG、出産の3ヶ月程前に日程を設定し、早めに飛行機の予約をお勧めします。
2.病院の予約	(N-5)月	グルガオンであればFortis以外の選択肢はあまり無いと思いますが、出産方法の決定と合わせてWellbe経由で日程を確定。
3.一時帰国時の購入品確認	(N-4)月	家族の趣味嗜好にもよるのでここでは割愛します。家族で十分に話し合って決めてください。
4.クレジットカード上限額の確認	(N-2)～(N-1)月	入院・出産費用で <u>一時的に70万から80万円の出費が発生し、一旦自分で払う必要があります</u> 。育児用品の購入や事前の一時帰国で出費がかさむ時期もあるので、使用明細を確認し、必要に応じクレジットカード会社に電話、上限額を多めに変更することをお勧めします。
5.その他実施事項		会社の総務・人事に相談し、受けられる制度補助は全て受けられるように段取りしてください。会社の補助関係は奥様ではどうすることも出来ません。漏れが無いよう確認怠らないでください。

【参考】Fortis Gurgaon入院費用【個室】(2016年6月時点、単位:ルピー)

出産形態	入院日数	Signature Deluxe	Signature Select	Maharaja Suite	Presidential Suite
帝王切開	3日(72時間)	359,600	725,000	1,087,500	1,537,000
通常分娩(※)	2日(48時間)				

※無痛分娩は通常に含む ※完全個室、新生児の健康状況によっては延泊の可能性あるが上記料金には含まれない。

4. (詳細版)出産後のこと(1)

5/6

項目	タイミング	実施事項・注意点
1.名前の決定	出産前	<p>パスポート発行に必要な書類を発行する時点で子供の名前を決めておく必要があります。予め決めておきましょう。面白半分に周囲から「我寧主(ガネッシュ)」とか「降杏華(プリアンカ)」を薦められる場合もありますが、安易につけないように気をつけてください。将来子供がグレます。</p>
2.出生証明書の取得	出産後即	<p>通常の手続きで実施する場合は、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) Birth Certificate入手(出産時申し込み書記入) 2) 上記書類をMunicipal Officeに提出(リードタイム: 15日) 3) 退院時に入手するDischarge Summaryを証拠書類として ドライバー等にOfficeに取得に行ってもらう(手数料22ルピー) <p>私の取った方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 0) 事前に拠点総務経由でVISAコンサルに段取りを依頼 1) Birth Certificate入手(出産時申し込み書記入) 2) Discharge Summary入手(退院時入手) 3) 上記を拠点総務由でVISAコンサルに提出(リードタイム: 9日) ※通常の手続きに比べコンサルへの委託費用が発生します。 (私の場合は30,000円程かかりました) <p>リードタイムの差は1週間ですので、その後の帰国日程等を鑑みてどちらにするか 判断ください。</p>

4. (詳細版)出産後のこと(2)

6/6

項目	タイミング	実施事項・注意点
3.戸籍登録	出生証明取得後	<p>2つ方法があります。</p> <p>1)領事館経由で申請 出生届を出生後3ヶ月以内に領事館に提出。 必要なもの:両親のパスポート、FRO、Birth Certificateの原紙 ※あらかじめ領事館に確認することをお勧めします。 戸籍登録完了までに必要なリードタイム：1ヶ月</p> <p>2)自分が直接日本の地方自治体に申請 パスポート・VISA取得を急ぐ場合にこの方法をとります。 最短で2日ですが、田舎の自治体で事前にメールとかで必要書類の確認をこまめにしていると、状況を察して早くやってくれることもあります。(実例あり:2日を1日に短縮)少なくとも事前連絡は必須です。 また、出生証明書・退院証明書の和訳が必要な場合もありますので、添付資料を参考に事前に準備ください(医療用語の和訳なので非常に手間がかかります)</p>
4.パスポート申請	戸籍登録完了後	<p>本人が居なければ交付出来ないのでインドでしか出来ません。</p> <p>1)外務省HPから申請書をダウンロードし必要事項を記入。 2)写真1枚+申請書+戸籍謄本で申請 3)2日後(14時以降)引取可能(赤子同伴MUST)</p>
5.FRO登録	パスポート取得完了後	ご自身が入国した時の手順に則ります (会社経由、個人経由)
6.各種清算	出産完了後	会社への医療費補助申請もそうですが、 帝王切開の手術をした場合に、奥様の加入している日本の生命保険会社からも保険が下りる場合があります。 生命保険会社の所定の書式に記入し提出ください。